

3期12年間にわたるご支援に

心からお礼申し上げます。

8月24日、3期目の任期満了をもって市長を退任いたします。12年間、暖かいご支援とご協力をいただき、市政を支えていただいた市民の皆様から感謝申し上げます。

平成14年8月25日、猛暑の選挙戦で市民の皆様への負託を受け、私は第14代和歌山市長に就任いたしました。しかしながら、この12年は、思い起こせば苦難の連続でした。失われていた市政への信頼回復に努めるとともに、財政健全化団体への転落の一手手前であった市政を立て直すため、支所・連絡所の窓口機能の統合や、下水道料金と都市計画税の引き上げ、市職員の削減などを進めました。市民の皆様への負担増につながる施策もありましたが、多くの皆様にご理解ご協力いただき、健全化団体への転落を回避することができました。

また、人口減少と地域経済の冷え込みが続く厳しい状況でしたが、旧丸正ビルや貴志川線の再生、教育施設の耐震化、学童保育の充実、北インターチェンジの設置、直川用地への企業誘致、岡公園の3茶室など和歌山城周辺の整備も着実に進めることができました。

何よりも嬉しかったのは、市政への信頼が回復したことにより、市民の皆様が行政に要望するだけでなく、自ら知恵と汗を出して和歌山市の未来のために役割を果たそうという機運が生まれ、様々な分野で「市民の底力」が発揮されるようになったことです。

退任を迎え、ふるさと和歌山市で多くの市民の方々との交流を深めながら重責を果たさせていただいたことを誇りに思いますとともに、皆様のご厚情に改めて厚くお礼申し上げます。市長退任のごあいさつといたします。皆様、12年間、本当にありがとうございました。

平成26年8月24日 大橋 建一



和歌山市民憲章 (昭和41年11月3日制定)

- 自然を愛し、きれいなまちをつくりましょう。
- 互いにたすけあい、希望にみちたまちをつくりましょう。
- きめごとを守り、人に迷惑をかけない市民になりましょう。
- 仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。
- 教養を高め、視野の広い市民になりましょう。

今月の市報わかやま題字、私が制作しました



市立和歌山高等学校
デザイン表現科2年
谷口 茉京さん

こんなことは初めてだったので、ドキドキしながら描きました。うさぎがポイントです。



広告 市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。☎広報広聴課 Tel.435-1009

市財政収入の一部に寄与することを目的とし、一般の広告を掲載しています。